

矢沢地域情報誌

やまぼろひ

No. 38

2021年12月1日

発行/矢沢地域振興会(矢沢振興センター)内 寄附 29-5480

mail : yashinkai025@gmail.com

交通安全は地域の願い

交通安全協会矢沢分会



コロナ禍の中にあつて、矢沢地域振興会や各種団体が主催する行事は少なからず影響を受け、やむなく中止となる事態も出ております。その中で、交通安全協会矢沢分会と交通安全母の会では、この秋以降も地域の交通安全を願い、様々な事業を展開しました。

街頭啓発活動展開

秋の交通安全運動中の9月24日に、交通事故防止街頭啓発活動を行いました。

この活動には、老人クラブシニア部会、矢沢小学校4年生、矢沢中学校生徒会執行部、交通安全対策協議会、交通指導員、花巻警察署の約120名が参加しました。

午後3時から約1時間におたり、国道4号線花巻東バイパス矢沢交差点付近で、のぼ



矢沢小学校4年生の皆さん国道283号線で啓発活動展開

り旗、交通安全事故防止啓発ボード、交通安全横断幕等を掲出して通行車両等に交通事故防止を呼びかけました。この日は青空が広がる汗ばむ中、矢沢の子ども達は元気いっぱい啓発活動に取り組みました。

高齢者世帯訪問

矢沢分会と母の会では、花巻警察署矢沢駐在所の協力を得て、10月9日に高齢者宅を訪問し交通事故防止啓発活動を行いました。当日は関係者10名が参加して、東十二丁目のコメン周辺50世帯を回り、チラシや反射材付きリストバンド、耳掛け等を手渡し交通安全の呼びかけを行いました。



東十二丁目二津屋地区に於いて

カーブミラー清掃

10月23日、矢沢地域に設置の約200基のカーブミラーを行政区ごとに役員の方がそれぞれの地域で清掃を実施しました。一年間の汚れが目立



矢沢振興センター前での清掃

被災地に学ぶ！

10月25日、矢沢地区自主防災会連絡協議会では、平成28年台風第10号の接近により甚大な被害を受けた岩泉町で視察・研修を行いました。研修では被災地域に当たる乙茂地区の「道の駅いわいずみ」で、岩泉町役場危機管理監の佐々木重光氏から防災に関する様々なお話を聴くことが出来ました。佐々木さんのお話は、消防署長時代を含めた数々の体験や防災士としての知見など説得力があり、参加した防災会の皆さんにとって大変参考となる有意義な研修となりました。

ち、カーブミラーの位置が高いため、大変な作業ですが、交通安全を願い一生懸命作業を行いました。都合により前

日までミラー清掃を実施した行政区もありましたが、いづれにせよ寒風の中での作業、大変ご苦勞様でした。



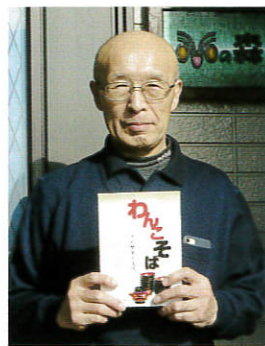
佐々木危機管理監のお話を聞く参加者



研修には9防災会26名が参加(龍泉洞入り口にて)

- 災害は繰り返す
「命を守る5つの助(たすけ)」
- 一 官助…消防・警察・自衛隊の援助
 - 二 公助…自主防災組織・企業・学校での助け合い
 - 三 共助…地区・部落の協力
 - 四 近助…となり近所で声掛けをする
 - 五 自助…自分の身体を災害からコントロールする力をつける

長年書き溜めておられた「わんこそば」への想いを綴った書籍が、この秋に出版されました。この本を自費出版された高木下通の泉沢善雄さんに原稿を依頼したところ、快く寄稿して頂きました。



「わんこそば—その歴史と文化—」 自費出版

「わんこそば」ともに

高木下通 泉沢 善雄

退職して東京から戻り、荒屋敷の古川五郎さんが耕作していた畑地を購入して家建てたのが昭和54年、同年に縁あつてやぶ屋に入社しました。やぶ屋には事務員として入社したのですが、幼時から野次馬的に何にでも興味を持つ性質、調理や接客の仕事も手伝ううちに調理師や危険物などの免許を取得、そのお陰で現在でもマルカン食堂で働いており、多芸が身を助けることになりました。

時のわんこそば大会は花巻公民館が会場で、狭く寒い中、300を超える選手（食土と呼ぶ）に休憩も取れずにひたすらそばを提供し続けるという苦行ともいえるものでした。終了後に行われる慰労会では先輩方から聞く大会の歴史が興味深く、そもそも「わんこそば」という食文化がどうして起こったのかという疑問もわいたのです。のちに古館の佐藤忠明氏も行司として参加し、一緒に活動したことも楽しい思い出です。盛岡転勤によつて盛岡の大会にも関わり、当地のそば屋さんから取材ができたこと、県立図書館に近いことも幸運で研究が深

まりました。

こうして収集した資料や証言を文章にまとめて嘉司屋の佐々木喜太郎氏や友の会幹事長の尾形昭三氏のお目に掛けたことで本の出版という望外の結果になりました。ただ、この時点では調査未了で疑問も残っていたため、さらに研究を続け此度の改訂版出版に至った次第です。これでわんこそば研究は終わりますが、自分が生きた足跡を残せたと安心して居るところです。

高木に生活して間もなく半世紀。その間に結婚して子ども・孫も生まれました。還暦を過ぎて体力も落ちましたが、地域の一員として少しでも貢献できればと願っております。

第27回 **わんこそば全日本大会**
 祝 花巻市制30周年 花巻市民体育館(花巻市内)
 昭和60年2月11日(祝日) 10:00-16:00
 電話 0196(23)5270



トピックス

「地域活性化事例集」取材

高松第三行政区ふるさと地域協議会では、10月24日に平良木公民館で当協議会の活動等を地域活性化事例集に取り上げるため、一般財団法人地域活性化センター（総務省の外郭団体）の那須広則地域創生総務課長から取材を受けました。当日は神山儀悦会長をはじめ協議会の発起人5名、移住者2名、行政区长、地域づくり課長、佐藤峰樹市議会議員、矢沢地域振興会の11名が出席しました。

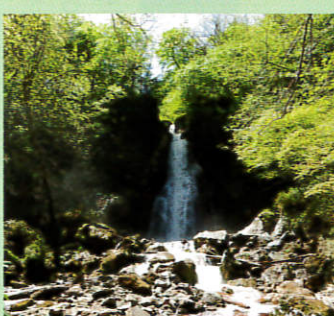


趣旨説明する地域活性化センターの那須総務課長と出席者

取材は熊谷哲周事務局長の司会で、発足当時の状況取り組み、課題などが話し合わせ、一時間半ほどで終了しました。なお取材の成果は、来年の2月号に掲載予定とのことでした。

○自然探訪教室

今年度の自然探訪教室は、6月4日に予定していた櫃取湿原は残念ながら悪天のため中止となりましたが、5月18日の八幡平、10月4日



八幡平・七滝



須川高原

の須川高原といずれも好天に恵まれました。毎回参加者から好評を得ており、来年度も参加者の声も考慮し計画する予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

小学校コーナー

授業実践公開研究会

10月15日、矢沢小学校にて授業実践公開研究会が開かれました。PTAの役員は運営補助員として参加しましたので、その様子についてお伝えします。

この催しは学校の活動・授業の指導案や技術を他の教員に向け発表し検討議論する取り組みで、これからの授業づくり、学校づくりについてお互い高め合う場です。コロナ感染防止対策を取り、人数を絞った開催となりましたが、その中でも多くの方々に参加いただきました。



日程は公開授業からスタートです。初めは教室に他校の先生方が居る状況に子ども達

は緊張の面持ち。しかし授業が進むにつれて子ども達の視線は先生と黒板に注がれ「はい！」と元気な声も教室に響きました。授業をみていた参加者の方々から「素晴らしい」との声も聞こえ、子を通わせている親として誇らしい気持ちにさせてくれました。



テーマ「主体的な学びに向かう児童」を目指し取り組んできた矢沢小学校。教科書を教える事だけでなく、子ども達が自分で考え導き出す力と互いに考えを深め合う力を育むための技術と工夫が詰まっていることに気づかされました。また、学校は子ども達が学ぶ場であると共に、実践とフィードバックを繰り返す教育の質を押し上げる場でもあると知りました。

中学校コーナー

生徒会役員認証式

【10月12日（火）】

10月5日に生徒会役員が行われ、新しい生徒会役員が選出されました。役員一人一人に校長先生から認証書が手渡され、生徒会長の小松唯花さんが活動に向けた意気込みを述べました。



文化祭

【10月23日（土）】

今年では合唱コンクールのみで行われた「東雲祭」の級の歌声が体育館に響きわたりました。生徒会の企画で取り組んだ演奏時間6分あまりの大曲テーマソング「僕のこと」も立派に完成しました。保護者にも受付や消毒の協力をいただいで、実り多い一日となりました。



「賢治の世界セミナー」

【10月26日（火）】

学芸員の牛崎敏哉さんと劇団主宰の牛崎志津子さんをお招きし、朗読劇「櫛の木大学生の野宿」―賢治さんと恐竜



赤い羽根共同募金

【10月27日（水）】

昨年に行うことができなかった「赤い羽根共同募金」ですが、今年では福祉委員が毎朝コツコツと募金を呼びかけました。文化祭でも保護者の皆様から御協力をいただくことができ、総額2万706円が集まりました。先日社会福祉協議会にお渡しすることができました。



―を全校でお聞きしました。トルコ石やオパール、県内で発見された茂師竜という恐竜の名前の由来の説明のあと、熱のこもった朗読を聞きました。お礼に全校合唱も聞いていただきました。

わが同好会の紹介⑫
3B体操ハナミスキの会

齋藤ツカ子

会の発足は、平成18年から始まり、当時は30名の人数でしたが、現在は12名の入会者で和気あいあいと皆で集まって、楽しみながら活動しています。

「3B体操」について簡単に説明致します。3B体操は生涯を通じて心身共に健康な日常生活が送られる様に3B体操の普及活動から始まったようです。3Bの意味は、ボール、ベル、ベルダーの頭文字から名付けられ、音楽に合わせて、3つの手具を使い分けて、歌謡曲や民謡やテンポの速いリズムダンス等を体操します。「ダンシングヒーロー」



等の速いテンポの音楽は、身体に負荷を感じ、それでも色々な音楽に合わせて上手に出来た時は、嬉しくなります。「高校三年生」の曲などもベル使用で、脳の若返りにもなります。何故かしら？心も身体も若返ってくる様な、3B体操の魅力です。

私が3Bに入会した時は、2016年いわて国体のデモンストレーション3B体操交流会が、雫石町で開催された年で、とても良い経験をした高年齢の方達も大勢参加して頑張っている姿を見て、自分も年若いからも3B体操を続けられて、頑張ろうと思いましたが、コロナ禍な時こそ、少しでも身体を動かす元気がないです。

毎月第一、第三(水)10時〜11時半まで、矢沢振興センターで、及川礼子先生の指導

私のひとこと

高木古館 佐藤 喜重



私は小学校5年生で初めてボールを握った

のが野球人生の始まりです。きっかけは知人からテニスボールの硬球をもらったことからでした。以来小学校、中学校、高校とやり続け、高校卒業後は社会人として都市対抗野球、地区野球、早起き野球、スポーツ少年団野球の指導者等を経験し、最後は還暦野球に席を置き20年間プレーし続けました。小学校5年生で野球をはじめ、80歳で還暦野球を卒業するまでただの一度もボールを握らなかつたこと

にて、楽しく活動しています。ご希望の方は、お待ちしております。

3B体操言葉から引用「十分な睡眠」「バランスのとれた食事」「ストレスをためない事」笑いは免疫力を上げ笑って動いて楽しみながら「健康寿命の延伸」「健康で美しく老いる」

はなく毎年新たな気持ちで野球を続けられたことは私にとって最大の喜びとするところです。思い返れば還暦野球で日本一を勝ち取ったことは最も心の中に残る思い出です。私が参加している「花巻こぶしクラブ」は平成26年岩手県予選大会で優勝し、岩手代表として姫路市に於ける全日本還暦軟式野球大会に参加し、一回戦から6試合を勝ち抜いて決勝では神奈川県代表の川崎ドリームズと対戦、4対2で勝利し優勝したのでした。その時の優勝の金メダルは私の生涯の宝物です。

世の中の教訓に「継続は力なり」という言葉があります。誰でも、どんな小さな事でも自分で信念を持って長くやり続けること、このことは何にもまして大事なことでない

【編集後記】

新型コロナウイルスに振り回され続けたこの1年も残すところわずかとなりました。この間、矢沢地域振興会の活動も様々な制約を受け中止または縮小の対応を取らざるを得ませんでした。

こういう中で「やまぼろし」の発行に当たっては、できるだけ地域の話題を取り上げよう



第30回全日本還暦軟式野球選手権大会優勝記念

2014.10.07 姫路球場 (兵庫県)

でしょうか。一つの物事に専念し、1年、10年、20年と続けて結果を果たすことは人生に於ける大切な視点であると思います。

と、多くの方に寄稿をお願いしたところ、どなたにも快諾していただきました。

これからも皆様のご協力のもとに親しみやすい紙面作りをしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、どなた様もどうぞよいお年を。

(編集委員 多田 英治)

次号は3月1日発行予定です。